

安保3文書と大増税



戦争の準備ではなく平和の準備を

米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

岸田内閣は安保3文書で敵基地攻撃能力（反撃能力）を持つことを閣議決定し、アメリカのバイデン米大統領と会談を行い、実行を約束しました。このことについて国民にも説明せず、国会にもはからず、今までの安全保障政策を180度転換するものとして多くの国民から批判が出ています。政府は1959年以来「平生から他国を攻撃し、脅威を与える兵器を保有することは憲法で認められない」としてきました。明らかに憲法違反です。

一般紙でも批判

京都新聞2月5日号の子ども向け「ニュース塾」で次のように書きました。

「政府は、日本が自ら守る目的で相手の基地を攻撃する「反撃能力」を持つことを決めました。日本は第2次世界大戦の後、戦争を二度とおこさないと世界に約束し、自分から武力を使わない原則を守ってきました。今回の決定は、この原則を変える大きな方針転換だと、議論を読んでいる」と。また

核兵器で脅迫するまで至りません。

日本共産党の主張

第2は、自分の国は自分で守るといおうそです。「安保3文書」では日本が攻撃されていなくても、「反撃能力」を使って、アメリカと一緒に相手国を攻撃できると明記しました。事実上の先制攻撃です。今想定されているのが台湾問題です。今沖縄や南西諸島（宮古島・石垣島）に自衛隊の射程の長いミサイル配備が進んでいきます。もし台湾やその近辺でアメリカと中国との偶発的な出来事があれば、日本が攻撃される可能性もあります。

ための外交に知恵と力を尽くすべき。これが政治のやるべきことと日本共産党は主張しています。今ASEAN（東南アジア諸国連合）はその枠組み作りを積極的に行っています。日本も憲法9条を生かした外交に徹するべきと考えます。

著名な評論家である故加藤周一さんは「戦争の準備をすれば戦争の確立が大きい。平和を望むなら、平和の準備を」と述べておられます。今こそ平和の準備を強く求めたいと思います。

軍事費5年で43兆円

来年度の軍事費は「防衛力強化資金」と合わせて10兆円超になります。5年後には文教予算の2倍以上になります。また世界第3位の軍事大国となります（図1）。

戦争の準備をすすめる

戦争をおこさないと

軍事費が倍増すると

雑感 総理秘書官が新聞記者とのインタビューで「LGBTは見るのも嫌。日本を捨てる人もいる」などと差別発言を行った。オフレコとはいえ、政府高官が発言する内容ではない。多くの同性愛者が苦しんでいる。同性婚は先進国では当たり前となつていく。米原市においてもパートナーシップ・ファミリーシップ宣言についての要綱案が提示されパブリックコメントが終了した。ぜひ確認してほしい。しかし一昨年の6月議会において夫婦同性維持の意見書が出されている。ジェンダー平等から考えると再度見直しが必要だ。

政府の反撃能力

第1は、岸田首相は「専守防衛に徹し、他国に脅威を与える軍事大国にはならない」というそです。一方で「反撃能力（敵基地攻撃能力）」を持つことによつて相手が恐怖を感じるものが抑止力であると言っています。その相手はより強力な武器をもつことによつて、日本を攻撃しようとする。最終的にはお互いが

軍事費上位10カ国（2021年）図1

順位	国名	金額（億ドル）
1	アメリカ	8007
2	中国	2934
	(日本)	10??
3	インド	766
4	イギリス	684
5	ロシア	659
6	フランス	566
7	ドイツ	560
8	サウジアラビア	556
9	日本	541
10	韓国	502

